

東海の果樹をめぐる情勢



令和 8 年 8 月
東海農政局生産部
園芸特産課



1-1 果樹の生産状況（栽培面積）

○東海地域では、岐阜県飛騨地域の高冷地から、愛知県知多地域・東三河地域、三重県紀伊地域の温暖な地域まで多様な気象条件を活かした果樹生産が行われている。

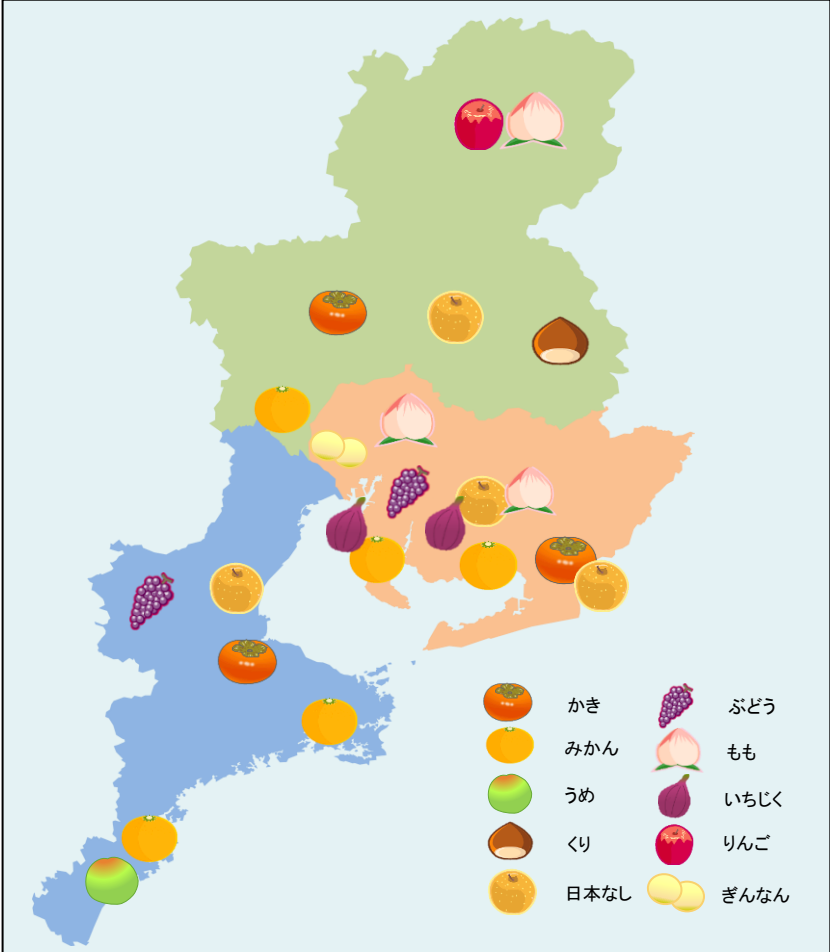
○主な品目は、かき、みかん、うめ、くり、日本なし、ぶどう、もも。

○岐阜県のかき、愛知県の一級、ハウスみかん、ぎんなんは全国上位を占める。

○主な果樹の栽培面積(令和2年) (ha)

品 目	東 海	岐阜県	愛知県	三重県	全 国	東海のシェア
かき	2,695	全国3位 1,250	1,060	385	19,000	14.2%
みかん	2,425	75	1,300	1,050	39,800	6.1%
うめ	805	165	385	255	14,800	5.4%
くり	781	442	193	146	17,900	4.4%
日本なし	601	117	339	145	11,000	5.5%
ぶどう	596	34	451	111	17,800	3.3%
みかん以外の かんきつ類	508	12	156	340	24,600	2.1%
もも	284	68	206	10	10,100	2.8%
その他の 政令指定品目	206	115	52	39	49,844	0.4%
政令指定品目合計 ※1	8,901	2,278	4,142	2,481	204,844	4.3%
参考 ハウスみかん※2	81	-	全国2位 76	5	307	26.4%
参考 いちじく※3	107	10.7	全国1位 94.0	2.4	776	13.8%
参考 ぎんなん※3	73	7.2	全国2位 61.4	4.6	523	14.0%

○東海地域の主な産地



資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」、「果樹生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」

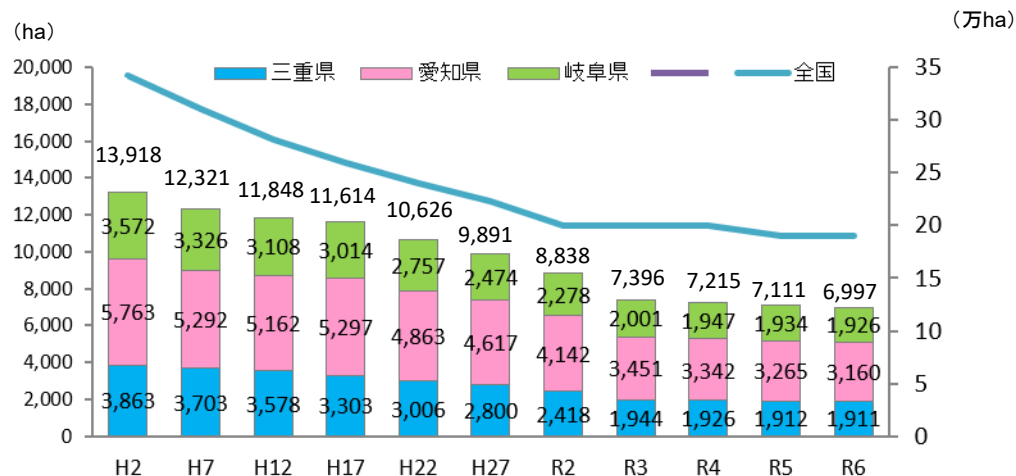
※1 政令指定品目（かんきつ類、りんご、ぶどう、なし、もも、おうとう、びわ、かき、くり、うめ、すもも、キウイフルーツ及びパインアツプル）は、「耕地及び作付面積統計」栽培面積（令和2年産）

※2 ハウスみかんは、「果樹生産出荷統計」結果樹面積（令和6年産）、※3 いちじく・ぎんなんは、「特産果樹生産動態等調査」栽培面積（令和5年産） 「ー」はデータなし。

1-2 果樹の生産状況（栽培面積の推移、農業地域区分別面積割合、県別の主な品目の出荷量）

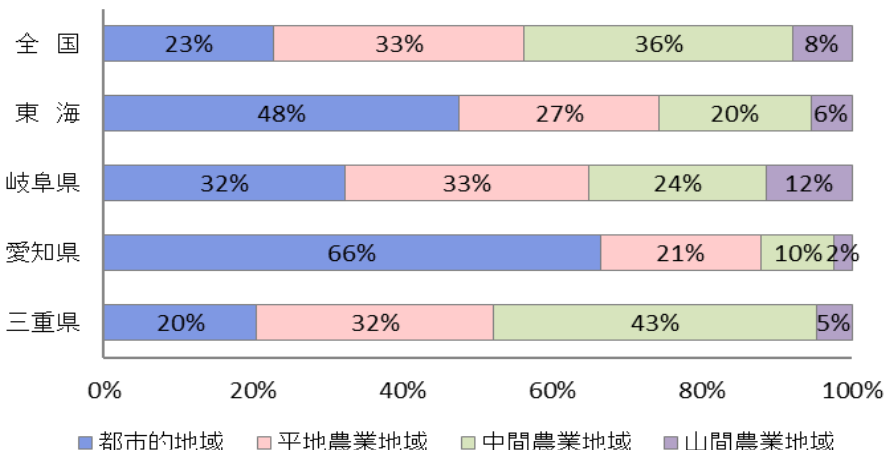
- 東海3県の果樹の栽培面積は、全国と同様、緩やかな減少傾向で推移。
- 農業地域類型別栽培面積では、全国に比べ、特に愛知県で都市的地域の割合が66%と高い。
- 東海3県で出荷量が最も多い果樹はみかんであり、愛知県と三重県で第1位の出荷品目となっている。

○果樹の栽培面積の推移



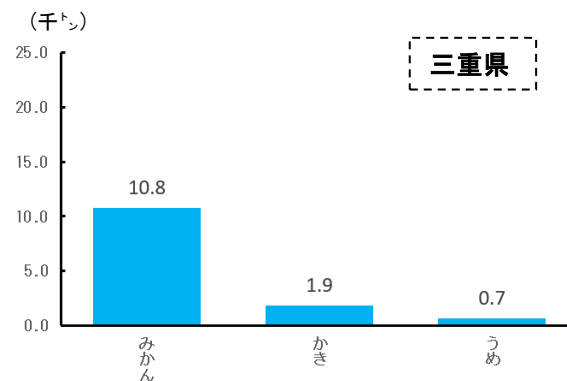
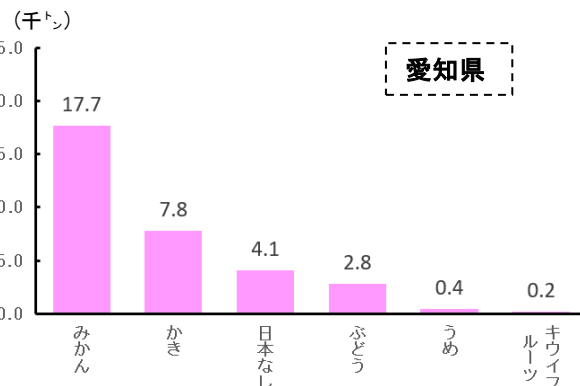
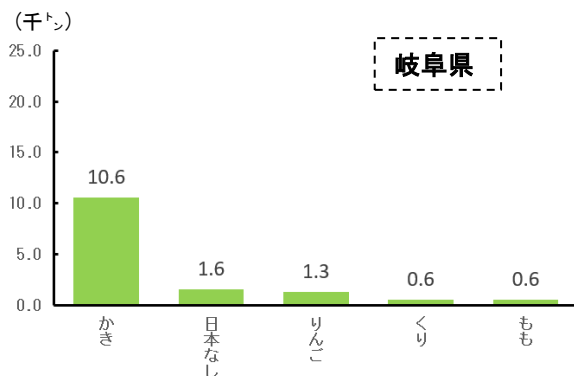
資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」

○農業地域類型区分別栽培面積割合(令和2年)



資料：2020農林業センサス「農業地域類型別報告書」

○県別の主な品目の出荷量の状況(令和6年産)



資料：農林水産省「果樹生産出荷統計」

調査対象：みかん、りんご、日本なし、西洋なし、かき、びわ、もも、すもも、おうとう、うめ、ぶどう、くり、パインアップル及びキウイフルーツの主産県(調査対象品目ごとに、全国の栽培面積のおおむね8割を占めるまでの上位都道府県とし、その範囲に該当しない都道府県であっても、果樹共済事業を実施する都道府県)

(参考)出荷量が全国上位5位に入る東海地域の品目(令和6年産、令和5年産)

かき			
順位	都道府県名	出荷量 (t)	割合 (%)
	全国	145,400	100
1	和歌山	30,300	21
2	奈良	22,900	16
3	福岡	11,700	8
4	岐阜	10,600	7
5	新潟	9,750	7

くり			
順位	都道府県名	出荷量 (t)	割合 (%)
	全国	11,400	100
1	茨城	3,470	30
2	熊本	1,480	13
3	愛媛	1,140	10
4	岐阜	574	5
5	栃木	424	4

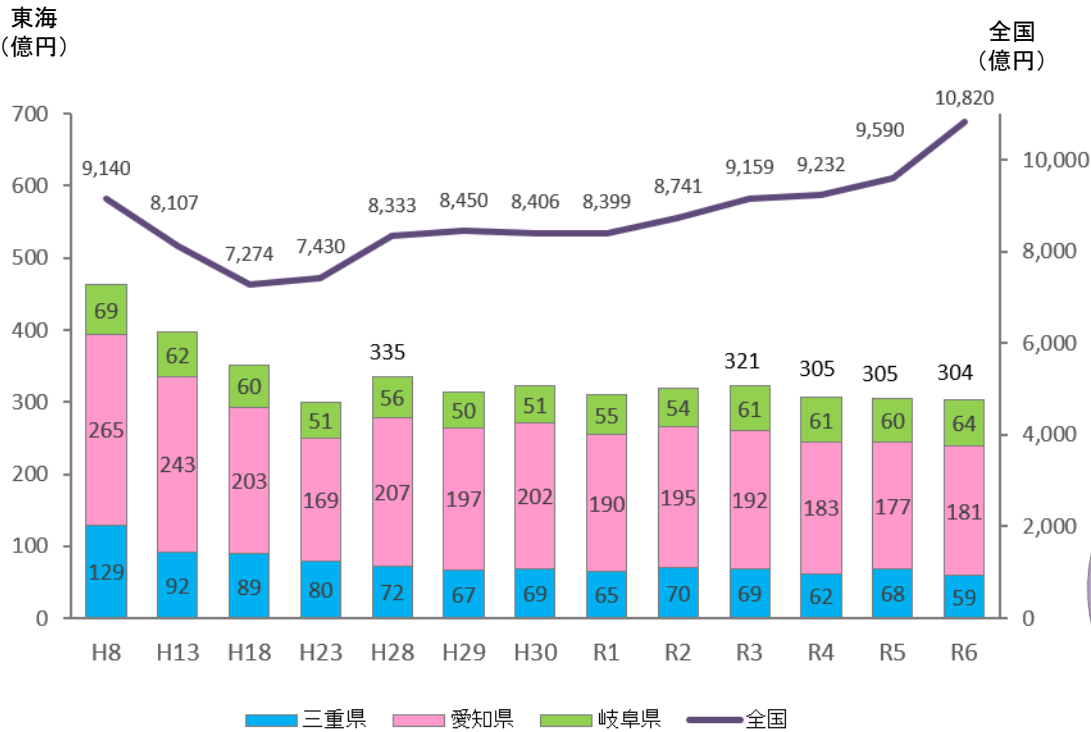
いちじく			
順位	都道府県名	出荷量 (t)	割合 (%)
	全国	8,300	100
1	和歌山	1,517	18
2	愛知	1,219	15
3	大阪	1,019	12
4	兵庫	862	10
5	福岡	733	9

資料: かき、くりは、農林水産省「果樹生産出荷統計」(R6産)、いちじくは、「特産果樹生産動態等調査」(R5産)

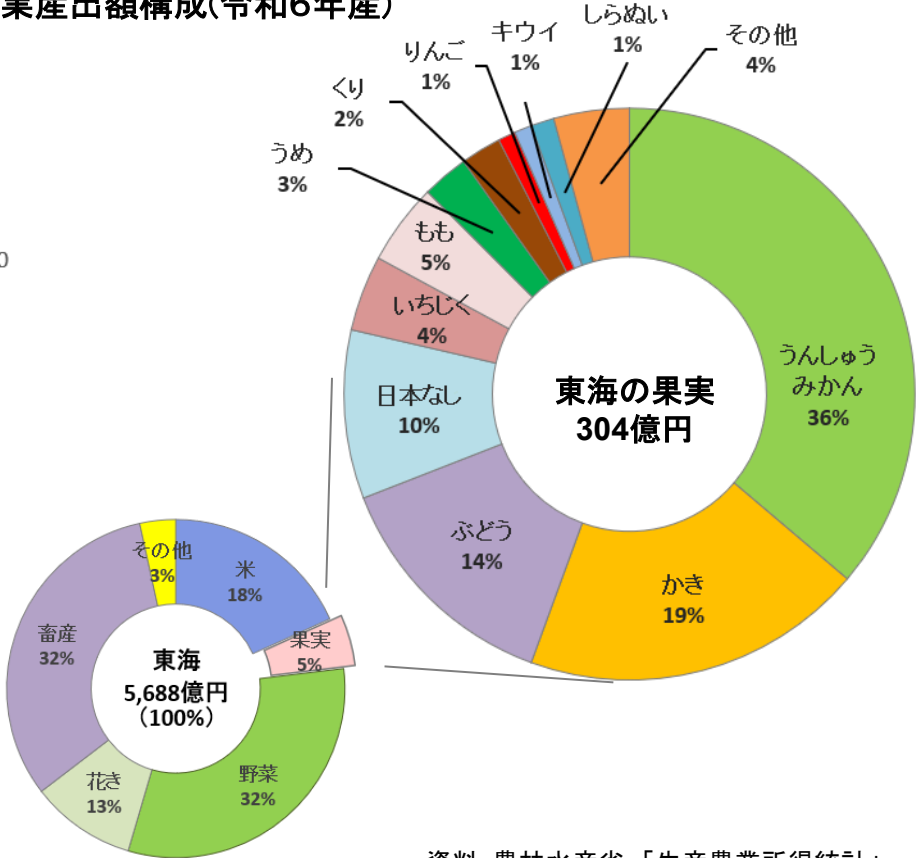
2-1 果実の産出額

○東海3県の果実の産出額は、栽培面積が減少する中で、単価向上等により近年横ばいで推移。
○農業産出額全体に占める果実の割合は、5%。
○品目別では、うんしゅうみかん、かき、ぶどう、日本なしの順に多く、この4品目で全体の8割を占める。

○果実の産出額の推移



○農業産出額構成(令和6年産)



資料:農林水産省「生産農業所得統計」

資料:農林水産省「生産農業所得統計」

2-2 果実の産出額(県別)

○岐阜県は、かきが全国4位で、果実全体の6割を占める。
○愛知県は、いちじくが全国1位、かきが全国6位、みかん及びももが全国7位、ぶどうが全国11位と、全国で上位を占める品目が多い。
○三重県は、みかんが全国13位で、果実全体の4割を占める。

○県別農業産出額のうち上位50品目に含まれる果実の産出額(令和6年産)

【岐阜県】

順位	品目	産出額 (億円)	全国 順位
1	かき	34	4
2	くり	5	6
	日本なし	5	30
4	りんご	3	13
	ぶどう	3	42
	もも	3	17
県計		59	36

【愛知県】

順位	品目	産出額 (億円)	全国 順位
1	みかん	80	7
2	ぶどう	31	11
3	かき	21	6
4	日本なし	16	15
5	いちじく	13	1
6	もも	11	7
県計		181	13

【三重県】

順位	品目	産出額 (億円)	全国 順位
1	みかん	28	13
2	日本なし	8	23
3	ぶどう	7	34
4	うめ	5	7
5	かき	4	19
6	しらぬい	2	11
県計		64	34

資料:農林水産省「生産農業所得統計」
注:県計は、記載品目以外も含む果実全体の産出額であるため、品目別の産出額の合計と合わない。

○ 全国順位が上位(10位以内)

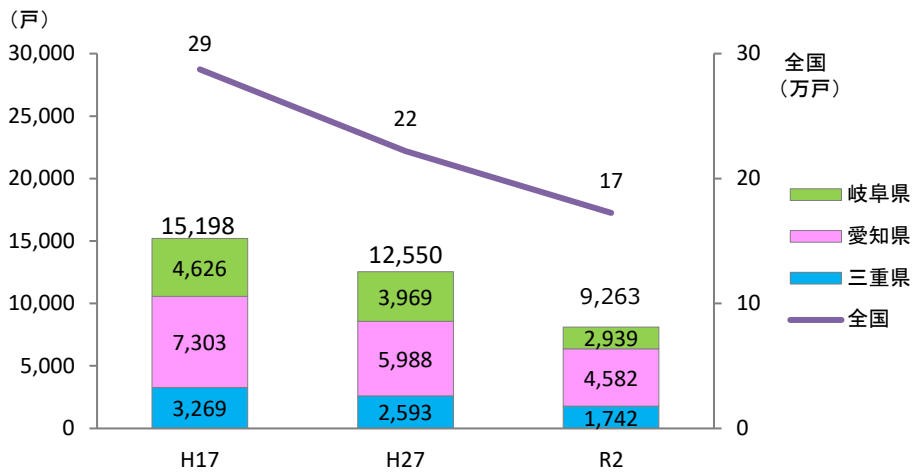
3 担い手の状況

○果樹の栽培経営体数は、平成17年からの15年間で47%減少（全国では41%減少）。

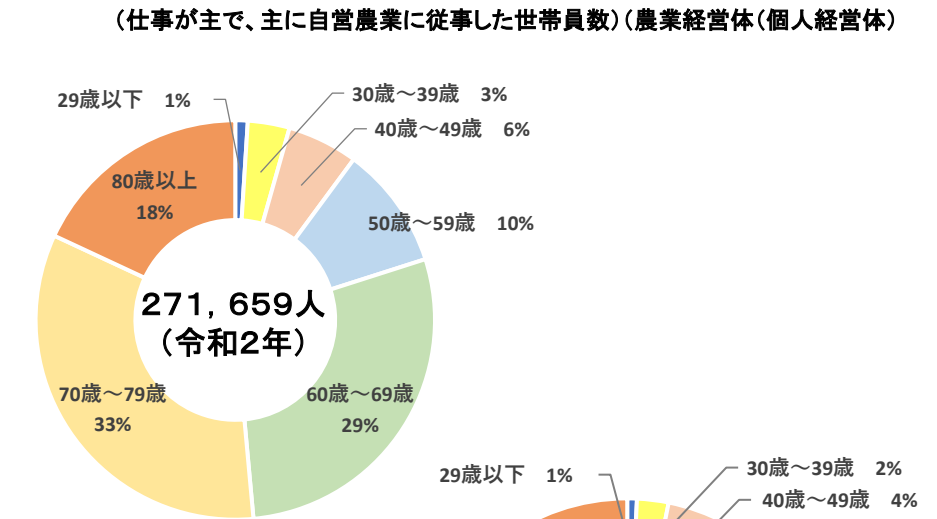
○樹園地面積規模別経営体数は、0.3ha未満が50%であり、全国（35%）に比べ規模の小さい農家が多い。

○年齢別では、70歳以上が58%であり、全国（51%）に比べ、やや高齢化が進んでいる。

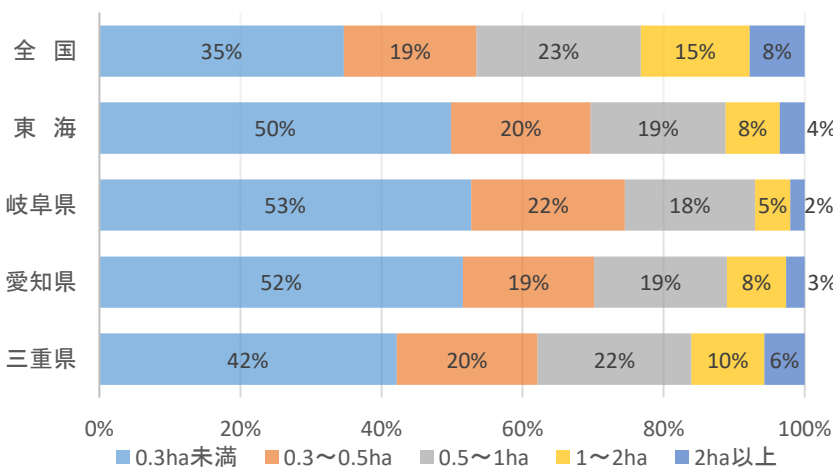
○果樹の販売目的の経営体数の推移



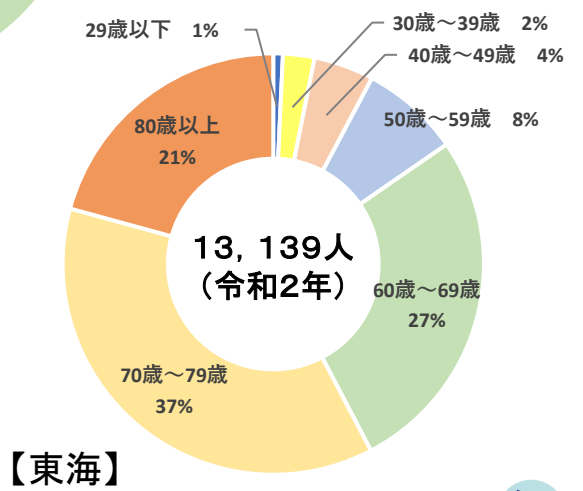
○年齢階層別の基幹的農業従事者数(果樹部門)



○樹園地面積規模別経営体数(令和2年)



【全国】



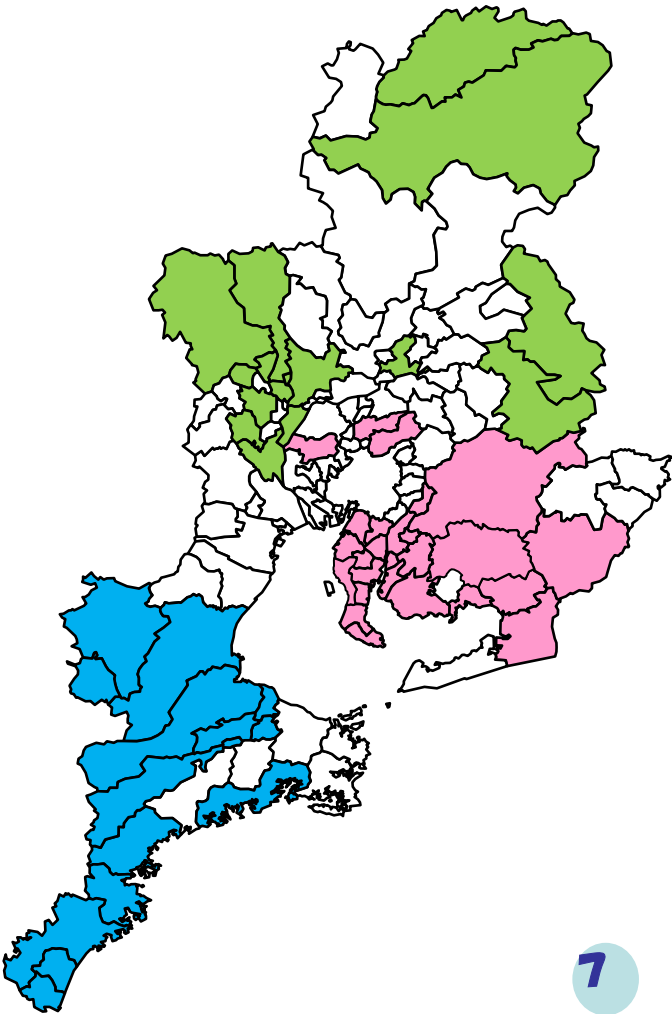
【東海】

資料: 全て2020農林業センサス「農林業経営体調査報告書」

(参考) 果樹産地構造改革計画の策定産地一覧

【果樹産地構造改革計画】
担い手の高齢化等により生産基盤の脆弱化が進む中、将来にわたって国産果実を安定的に供給するため、産地自らが産地の特性や意向を踏まえ、担い手の育成や農地利用、品種構成、販売戦略などについて、目指すべき方向や目標について定めた計画。

県名	地域等区分	産地協議会名	対象品目	県名	地域等区分	産地協議会名	対象品目
岐阜県（5産地）	西濃	揖斐地域果樹産地協議会	かき	三重県（12産地）	東紀州	三重南紀みかん産地再編構築委員会	みかん、その他かんきつ
		大垣市ナシ生産連絡協議会	なし			御浜柑橘産地協議会	みかん、その他かんきつ
	中濃	山之上果樹産地活性化協議会	かき、なし			尾鷲地域果樹産地協議会	みかん、その他かんきつ他
		東美濃「クリ産地消（南）拡大」プロジェクトチーム	くり			紀北地域果樹産地協議会	みかん、その他かんきつ
	飛騨	飛騨地域果樹産地協議会	りんご、もも、なし		南勢	南勢産地協議会	みかん、その他かんきつ、うめ
愛知県（18産地）	東三河	蒲郡かんきつ産地協議会	みかん、その他かんきつ			玉城町次郎柿産地協議会	かき
		「豊橋の柿」産地協議会	かき		中勢	津安芸地域果樹振興協議会	なし、かんきつ、うめ
		「豊橋の梨」産地協議会	なし			松阪柑橘産地協議会	みかん、その他かんきつ
		「豊橋の果樹」産地協議会	ぶどう、いちじく、もも			みえなか梨産地協議会	なし
		「新城柿」産地協議会	かき			多気果樹産地協議会	かき、みかん、もも他
		西三河	JAあいち中央いちじく産地振興協議会		いちじく	伊賀	伊賀地域ぶどう産地協議会
	JAあいち豊田いちじく産地振興協議会		いちじく		伊賀地域梨産地協議会		なし
	JAあいち三河いちじく産地振興協議会		いちじく	東海計	35産地		
	JA西三河いちじく産地振興協議会		いちじく		R8.7現在		
	JAあいち中央梨産地振興協議会		なし				
	西尾梨産地協議会		なし				
	豊田市桃、梨、柿産地振興協議会		もも、なし、かき				
	幸田町かき産地協議会		かき				
	みよし市柿・梨・ぶどう産地振興協議会		かき、なし、ぶどう				
	尾張		愛知県あいち知多かんきつ推進協議会	みかん、その他かんきつ			
		JAあいち知多いちじく産地協議会	いちじく				
		祖父江ぎんなんブランド推進協議会	ぎんなん				
		JA尾張中央果樹産地協議会	もも、ぶどう、かき、なし、いちじく				



～株式会社浅井農園 玉城キウイ園地における地域の活性～



第一園地(三重県玉城町)



第二園地(三重県津市)



新梢誘引技術を採用した園地



霜除けネット、防風ネット

関係機関：浅井農園(生産)

ゼスプリインターナショナルジャパン株式会社

(貯蔵・品質管理・販売)

栽培面積：13ha(第1園地(玉城町):7.3ha、第2園地(津市):5.7ha)

○事業概要

三重県玉城町において、令和元年に農地耕作条件改善事業を活用し、遊休地を含む7.3ha(地権者52人)の農地を町が中心となって集約し、本州最大規模のキウイフルーツ栽培ほ場を整備。

浅井農園は、ゼスプリ社と全量買取契約を締結し、高耐病性と高栄養価で食味に優れたゼスプリサンゴールドキウイを栽培。

ニュージーランドの「新梢誘引技術」を採用し、難しい枝の選抜や剪定作業を省略。ICTを導入し、土壌水分を計測することにより、適切な灌水管理と自動養液栽培により労力を節減。また、台風などの悪天候の影響を最小限にとどめるため、大規模な防風ネットを設置。

令和6年には、津市に第二園地(5.7ha)を前回と同じ事業を活用し整備。農地集約の調整を浅井農園が自ら調整。

令和4年10月の初収穫で100トン、令和6年産は130トン、令和7年度は150トンを出荷(第一園地のみ。第二園地は令和8年度から出荷開始)。

○課題及び今後の展望

令和10年に520トンを目ざし、将来的には自社グループ園地で30haの開園、収穫量1,200トンを想定している。